

積の大きさ

年 組 名前

/18

■ 次のかけ算の積と、かけられる数の大小関係を、等号や不等号を使って表しましょう。

① 140×0.1 140
かけられる数 かける数

② 87×0.83 87
かけられる数 かける数

③ 5320×6.27 5320
かけられる数 かける数

④ 900×1.78 900
かけられる数 かける数

⑤ 2840×0.06 2840
かけられる数 かける数

⑥ 7100×0.08 7100
かけられる数 かける数

⑦ 9500×1.9 9500
かけられる数 かける数

⑧ 350×7.02 350
かけられる数 かける数

⑨ 78×5.81 78
かけられる数 かける数

⑩ 8000×0.97 8000
かけられる数 かける数

⑪ 690×0.5 690
かけられる数 かける数

⑫ 50×0.32 50
かけられる数 かける数

⑬ 4090×1 4090
かけられる数 かける数

⑭ 40×1.05 40
かけられる数 かける数

⑮ 1000×1 1000
かけられる数 かける数

⑯ 6230×8.4 6230
かけられる数 かける数

⑰ 3070×9.06 3070
かけられる数 かける数

⑱ 200×0.04 200
かけられる数 かける数

積の大きさ

年 組 名前

/18

■ 次のかけ算の積と、かけられる数の大小関係を、等号や不等号を使って表しましょう。

① 140×0.1 $<$ 140
かけられる数 かける数

② 87×0.83 $<$ 87
かけられる数 かける数

③ 5320×6.27 $>$ 5320
かけられる数 かける数

④ 900×1.78 $>$ 900
かけられる数 かける数

⑤ 2840×0.06 $<$ 2840
かけられる数 かける数

⑥ 7100×0.08 $<$ 7100
かけられる数 かける数

⑦ 9500×1.9 $>$ 9500
かけられる数 かける数

⑧ 350×7.02 $>$ 350
かけられる数 かける数

⑨ 78×5.81 $>$ 78
かけられる数 かける数

⑩ 8000×0.97 $<$ 8000
かけられる数 かける数

⑪ 690×0.5 $<$ 690
かけられる数 かける数

⑫ 50×0.32 $<$ 50
かけられる数 かける数

⑬ 4090×1 $=$ 4090
かけられる数 かける数

⑭ 40×1.05 $>$ 40
かけられる数 かける数

⑮ 1000×1 $=$ 1000
かけられる数 かける数

⑯ 6230×8.4 $>$ 6230
かけられる数 かける数

⑰ 3070×9.06 $>$ 3070
かけられる数 かける数

⑱ 200×0.04 $<$ 200
かけられる数 かける数